

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和5年9月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇秋です

例年であれば、暑さも次第に和らいで、秋分の日を境に夜長に向かい秋が深まる頃ですが、今年は夏の酷暑が延々と続き、未だ秋の気配に与れません。

9月1日は新学期の始まりですが「防災の日」と制定されています。地震や津波・台風・豪雨など自然災害に対する認識を深めるために制定されました。

令和2(2020)年1月から続く新型コロナ禍も災害の一つでしょう。令和5(2023)年5月、感染法上の扱いが季節性インフルエンザ並みに変更されたことにより、私たちはあたかも収束したかのように勘違いしてやしませんか。

◇新型コロナはしぶといです

私たちは、新型コロナウイルスの感染の波間に翻弄されてきました。私たちの周りの、障害を抱える当事者、そのご家族、そしてサポートしてくれる人たちで、新型コロナウイルスに感染したことがない人を知りません。

「にじと風」は、利用者送迎時の施設職員と保護者との接点で、また施設行事への保護者会の皆さんの参加の機会でも、できるだけ情報のやり取り・交流を心掛けていますが、コロナ感染を避けるために、これら接点を絞ってきました。

「ひよこの会」も、施設行事への参加を自粛、収益事業や研修・交流会も取止めるなどから親同士の横の繋がりも薄れました。私たちの活動に支援を頂いているボランティアの方々とも同様です。

感染法上の扱いが変更されたのを契機に、ひよこの会は活動内容を見直し仕切り直して再出発を図ろうとしています。

会員の中には、交流的集まりをリモートで定期化しているグループもありますが、ほんの一部の人たちです。生活の糧を得るための仕事も在宅勤務とか転職を余儀なくされたりとか、家庭内にも様々に変化が生じ、その対応に悩むことがあるかもしれません。

個の困りごと・悩みに対して、孤立してしまうことがないように、私たちの活動が、その困りごと・悩みの軽減、解決に向けて役に立つことができればと思います。

しかし、この約4年の停滞は余りにも影響が大きい。親しい仲間と会って話すような、当たり前の交流が人の気持ちをいかに支えていたのかを実感しているところです。

ところが、また新型コロナウイルスが頭を持ち上げたようです。昨年末から今年初めの第8波を超え、第9波を迎えているともいわれています。新型コロナの新たな変異ウイルス、通称「エリス」、「ピロラ」が確認されたそうです。私たちは、ワクチン接種のほか、手指の消毒・屋内で人と近い距離で会話する場面ではマスクを、そして十分な換気を心掛けましょう。

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)は、NPO法人にじと風福祉会の活動を全面的に応援しています



青いサルビア：尊敬・知恵・家族愛

◇9月度収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	備考(担当など)
1	9/3(日)、6:00-11:30	第4回福祉バザール(運営)	14,000	米倉浩幸/塩入俊樹/塩入麻美/吉野康生/吉野純子
2	9/3(日)、8:00-11:00	第4回福祉バザール(販売)	5,090	笠川智子/飯沼久美/小島和恵
3	9/9(土)、9:00-10:00	資源回収	2,133	笠川智子/飯沼久美/小島和恵

◇にじと風保護者会がありました

- ・日時 : 9/9(土)、10:30-12:00
- ・参加者: 塩入麻美/白柳都/伊藤麻紀/笠川智子/吉野眞里子
- ・話合ったこと (にじと風利用者・職員にコロナ感染者が発生、急遽WEBでの開催に変更)
- * 収益事業について
 - 市役所での福祉バザールがスタートした。
 - 資源回収は今まで職員に依頼してきたが福祉バザール販売担当が行うようになった。
 - 今後の出店が見込まれるもの(予定)、
 - 10/8 やちよ市民活動フェスティバル2023(市勝田台文化センター)
 - 10/21・22 2023八千代どーんと祭(市多目的広場)
- * ライフサポートファイル書こう会について
 - 講師を招いて、参加者も会の外にも広げての研修会形式を予定。
 - ファイル作成だけでなく、講師を囲んでの座談会的な時間を設ける。
- * コロナ禍で会員同士の繋がりが薄らぎ、活動再開に当っては、「初めまして…」の自己紹介からスタートしている現状をふまえ、会の活動は、参加して「楽しかった」と思えるようなものでありたい。
 - 会員の特技を持つ人に教えてもらう会(手作り、料理、絵画、書など)
 - 先輩の体験談を聞く会
 - 外部から講師を招いての会
 - 外に出掛けての見聞を広める機会をつくる
- ・施設長から、にじと風「夏の特別活動」の協力へのお礼と、施設でのコロナ感染状況などの報告がありました。



◇公開シンポジウムのお知らせ

令和3(2021)年9月、医療的ケア児と家族の支援を自治体などの責務とする「医療的ケア児支援法」が施行されました。八千代市で暮らす医療的ケア児が、すくすくと学び・育つには、どのようなことができるかを考えます。(入場無料、予約不要)

日時 : 10/9(月祭)、11:00-16:00

(11:00~ "ミニキッズフェスタ(福祉用具体験会・災害時の対策など)"同時開催)

会場 : 八千代市市民会館

テーマ: 「医療的ケア児を地域で支える」

基調講演 「医療的ケア児がすくすくと地域で育つということ」

講師 県医療的ケア児等支援センターぼらりす センター長 石井光子先生

シンポジウム 「医療的ケア児等への教育に対する八千代市の取り組み」

シンポジスト 市障害者支援課・八千代特別支援学校・当事者家族

◇これからの予定

- ・9/27(水)~29(金) 第50回 国際福祉機器展(東京ビッグサイト)
- ・9/30(土)、13:30-16:00 令和5年度八千代市障害者スポーツ大会(市市民体育館)
- ・10/1(日)、8:00-12:00 第5回 八千代 友・遊・福祉バザール(八千代市)
- ・10/7(土)、9:00-10:00 資源回収
- ・10/8(日)、9:00-16:00 やちよ市民活動フェスティバル2023(市勝田台文化センター)
- ・10/21(土)22(日)、10:00-16:00 2023八千代どーんと祭

◇編集後記

私たちの活動を以前のような軌道に乗せようと動き出したところに、新型コロナの"第9波"です。でも「スクラム」の形を整えて乗り切りましょう。(吉野康生記)